

製品安全データシート

基板エッジコーティング剤アルファ

【製造者情報】

製造会社：(株)マービー

住所：〒135-0041 東京都江東区冬木
11番17号 イシマビル5階

担当部門： 開発G 担当者：岩間俊三

電話番号： 03-5639-9860

緊急連絡先： 同上

【整理番号】 100427-2

作成日： 2010年4月27日

【製品名】(化学名, 商品名) 基板コーティング剤 W10Green

【物質の特定】 単一製品・混合物の区分： 混合物

国連分類： 定義上危険物に該当しない。

構成成分	含有量%	CAS No.	官報公示No.
着色顔料	1.0～10.0		
保湿剤(グリセリン、グリコール類等)	5.0～10.0		
水性エマルジョン樹脂	20.0～45.0		
添加剤	0.1～0.2		
水	20.0～35.0		

【危険有害性の分類】 分類の名称： 分類基準に該当しない。

有害性：皮膚に付着したままにしておくと炎症を起こす場合があります。
目に刺激性があります。

【応急処置】 目に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： 石鹸で十分洗い、水または微温湯で洗い落とす。もし、皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。

吸入した場合： 揮発性は低いが、不快感を感じたら新鮮な場所に移動する。

飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、喉に指を差し込んで吐き出させ、医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】 消火方法

(周辺火災の場合)： 速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)： 消火剤又は多量の霧状の水を用いて消火する。

消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

消火剤： 粉末、泡、二酸化炭素、水、乾燥砂、強化液。

【漏出時の措置】 少量の場合は、ウエス等で拭き取り、密閉できる空容器に回収する。

こぼれた場所を洗剤等を使用して清掃する。

大量の場合は盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

この場合、流出した製品が河川、水路等に流れ込まないように回収する。

【取扱い及び

保管上の注意】

取扱い： 火気に注意し、作業場は換気を十分に行う。作業衣等に付着した場合は、その汚れを落とし、取扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

保管： 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。

酸化性物質、強塩基性物質と同一場所に保管しない。

【整理番号】 100427-2

【暴露防止措置】 管理濃度： 未設定
保護具： 保護眼鏡、保護手袋、保護衣を着用する。

【物理／
化学的性質】 外観等： 透明液状。
比重： 1.00～1.20 (25℃)

【危険性情報】 製品の引火点： なし 発火性： 自然発火性及び水との反応性なし。
安定性・反応性： 通常の取扱い条件において安定。

【有害性情報】 グリセリン： 刺激（皮膚、目）軽度。

【環境影響情報】 知見無し。

【廃棄上の注意】 ドラム等に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。外部委託の場合は、水性廃液であることを明記して、産業廃棄物処理業者に委託する。

【輸送上の注意】 容器に漏れのないことを確認、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

【適用法令】 消防法： 非危険物
廃棄物の処理及び清掃に関する法律
化学物質管理促進法： 第1種指定化学物質 該当せず。
第2種指定化学物質 該当せず。
労働安全衛生法： 政令93号で定める通知対象物質
該当せず。

【その他】

参考資料： (1) 製品安全データシートの作成指針 社団法人 日本化学工業協会
(2) 12093の化学商品 化学工業日報社
(3) 原材料のMSDS 各原材料メーカー

「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取り扱う場合は、記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に則した安全対策を講じて下さい。本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。
